

領域別項目対照表

大学院名: 東京学芸大学

■科目番号と項目番号

研究科名: 教育学研究科

別紙「科目番号と項目番号」を参照し、下表の科目番号項目番号欄に記入してください。

担当者名: 橋本 創一

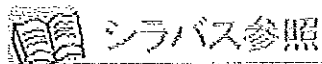
記入例 1-(1)、実1-(1)

科目名: 発達臨床特論E

No.	授業スケジュール	主な内容	科目番号 項目番号	(認定委員会記入欄)
1	特別支援教育について	オリエンテーション[授業概説] (特別支援教育の理念と実践) (臨床発達心理学の基礎について)	7-(1)	
2	発達支援を必要としている人々(支援ニーズ・発達障害児の特性)	発達支援を必要とする子どもや発達障害児の特性について	7-(2)	
3	発達障害児の実態	通常学級の教室のなかでの気になる子どもや発達障害児の姿 (あらゆる障害について、特別な教育ニーズ)		
4	実態把握(対象理解の方法)	気づき・発見と理解(スクリーニング、実態把握、認知発達支援や行動支援のニーズ)	7-(3)	
5	特別支援教育の制度	特別支援教育とは (教育制度と支援システムについて)	7-(2)	
6	校内委員会と支援体制	校内支援体制 (具体的な支援のあり方)	7-(5)	
7	特別支援教育における連携	専門機関と学校の連携 (医学的診断や福祉機関からの支援)		
8	個別の教育支援計画	担任教師と特別支援教育コーディネーター・個別の支援計画	7-(4)	
9	発達支援ニーズのある就学前期の実態と支援	就学前期の発達障害児の姿と発達支援 (認知発達と行動支援について)		
10	青年期・成人期の発達障害者の実態	青年期・成人期の姿と不応症候		
11	学習支援・発達支援の方法	教室における具体的な支援 (認知発達に基づく学習支援と行動支援など)		
12	発達支援(社会性の支援を中心に)	ソーシャルスキルトレーニングの実際		
13	相談支援	教育相談の進め方と保護者の協力 (親のタイプに応じた支援など)	7-(3)	
14	学級における支援(集団への支援方法)	学級経営と理解教育 (要支援児を含めた学級風土づくりと経営など)		
15	支援者の専門性と役割	総括 (心理・教育などの支援者の専門性と役割)		

※ シラバスを添付してください。

"変更予定なし"



タイトル「2010年度 教育学研究科シラバス」、フォルダ「2010年度 教育学研究科シラバスー学校心理専攻」シラバスの詳細は以下となります。

9

目 録

科目名	発達臨床特論E(a)		
担当教員	橋本 創一		
対象学年	1年	クラス	01
講義室		開講学期	秋学期
曜日・時限	月6	単位区分	選択
授業形態	一般講義	単位数	2
受講対象	学校心理専攻学校心理コース、学校心理専攻臨床心理コース		
備考			
ねらいと目標	通常学級に在籍する特別な教育的ニーズ(主に軽度知的障害、発達障害)のある幼児・児童・生徒などを対象として、教育支援・発達支援、カウンセリングなどにおける今日的な課題・トピックをとりあげながら、臨床発達心理学の基礎を学ぶ。		
内容	内容は、学校現場における気になる子どもや発達障害の障害特性、実態(アスペルガー症候群、LD、ADHD、高機能自閉症、軽度知的障害)、通常教育の教育課程と個に応じた支援/個別の指導計画、通常学級の中の障害児の発見・対応、保護者とのカウンセリングと連携、軽度発達障害者の就労・生活支援、学校カウンセリング、教育相談、専門機関・専門家のコンサルテーションと学校の連携、障害児理解教育と障害児教育理解、学級経営、発達障害児へのソーシャルスキルトレーニングである。特に、子どもの認知発達とその障害や援助の方法について事例などをあげて概説する。 こうした発達支援を必要とする対象を通して、臨床発達心理学とその具体的な支援方法、心理職・教育職としての専門性などを学ぶ。		
テキスト	[教師のための学校カウンセリング(小林・橋本・松尾編著)、2008年、有斐閣] 講義中にプリントを配布する。		
参考文献	『認知発達とその支援(ミネルヴァ書房)』『学校心理士による心理教育的援助サービス(北大路書房)』、その他は授業中に配布または指示する。		
成績評価方法	出席状況、討議、レポートによって総合的に評価する。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション[授業概説] (特別支援教育の理念と実践) (臨床発達心理学の基礎について)	
	2	発達支援を必要とする子どもや発達障害児の特性について	
	3	通常学級の教室のなかでの気になる子どもや 発達障害児の姿 (あらゆる障害について、特別な教育ニーズ)	
	4	気づき・発見と理解(スクリーニング、実態把握、認知発達支援や行動支援のニーズ)	
	5	特別支援教育とは	

授業スケジュール(展開計画)		(教育制度と支援システムについて)
	6	校内支援体制と個別の指導計画 (具体的な支援のあり方)
	7	専門機関と学校の連携 (医学的診断や福祉機関からの支援)
	8	担任教師と特別支援教育コーディネーター (支援者の役割と仕事内容など)
	9	就学前期の発達障害児の姿と発達支援 (認知発達と行動支援について)
	10	青年期・成人期の姿と不応症状
	11	教室における具体的な支援 (認知発達に基づく学習支援と行動支援など)
	12	ソーシャルスキルトレーニングの実際
	13	教育相談の進め方と保護者の協力 (親のタイプに応じた支援など)
	14	学級経営と理解教育 (要支援児を含めた学級風土づくりと経営など)
	15	総括 (心理・教育などの支援者の専門性と役割)
授業のキーワード	臨床心理学, 特別支援教育, 児童理解, 心理検査, 福祉, 面接法, アセスメント, 発達障害	
受講補足(履修制限等)	講義は、教育実践研究支援センター2号館(グランド入口門前)の1階会議室でおこなう。	
その他	学校心理士取得の「障害児の教育と心理(H22)」、臨床発達心理士取得の「臨床発達心理学の基礎(H22)」を想定しています	

